

# 第1回SPORTS DEPO杯争奪第32回那覇地区中学校軟式野球 1・2年生強化大会要項

(第14回全日本少年春季軟式野球大会那覇地区予選会)

- 1. 主催** 那覇地区中学校体育連盟
- 2. 共催** 沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、浦添市教育委員会、久米島町教育委員会
- 3. 後援** 那覇地区中学校校長会、沖縄県野球連盟那覇支部
- 4. 期日** 令和4年8月18日(木)、19日(金)、20日(土) 予備日:21日(日)
- 5. 会場** 令和4年8月18日(木) 8:30(1回戦) ANAボールパーク(3)・金城中学校(3)・仲西中学校・浦添中学校  
令和4年8月19日(金) 8:30(2回戦・3回戦) ANAボールパーク(3)・浦添中学校(3)・金城中学校(3)・仲西中学校(3)  
令和4年8月20日(土) 8:30(準決勝・決勝) 仲西中学校(2)・浦添中学校(1)  
令和4年8月21日(日) 予備日 浦添中学校・金城中学校・仲西中学校
- 6. 申込締切日** 令和4年7月6日(水)の監督会・抽選会までに専門部長へ回答する。
- 7. 申込方法** (1)大会参加申込用紙は那覇地区中体連野球専門部HPからダウンロードし、必要事項を入力し、プリントアウトしたものに  
学校長の捺印を受け、原本1部、コピー4部を、8月1日(月)までに那覇地区専門部長へ提出する  
(2)選手変更届は、那覇地区中体連野球専門部HPよりダウンロードし、校印を押印して、  
原本1部、コピー4部を8月18日(木)7:30までに各球場長に提出する。  
※大会冊子作成のため申込用紙ファイルを那覇地区中体連野球専門部HP宛(nahabaseball@yahoo.co.jp)に  
8月1日(月)16:45までにメールを送信すること  
(3)ロジンについてはコロナ感染症対策の観点から今大会は各チームで準備すること  
(SPORTS DEPOから各チームに1個ロジン提供)
- 8. 企画運営責任者** 那覇地区中体連野球専門部  
大浜淳一、石原孝之、渡嘉敷光範、安里博文、宮國稔基、仲村竜太、一安裕次郎、宮良淳、當間栄太、  
野原大輝、石山和明、根間誉、久高陵太郎、上田直哉、島袋剛、下里洋介、山城千尋、足立忠敬、大城祐樹  
伊佐常克、多和田真司、大城征一郎、比嘉政人、謝花廉、仲本政毅、瑞慶山良樹、照屋駿介、仲座康一  
仲間賢治、中山邦彦、宮里哲平、安村勇馬、山城慶太、座波清正、仲村俊哉、高良政之他  
**運営委員** 那覇地区中体連加盟校に所属する野球部全顧問
- 9. 参加資格** (1)那覇地区中体連加盟校に加盟している学校の生徒であること。  
(2)学校長が選手として本大会に出場を許可したものであること。  
(3)1チームは、選手20人、記録員2人、監督1人、コーチ2人の計25人とする。  
※但し合同チームに関してはその限りではない  
(4)選手の引率は、出場校の校長・教員とする。監督については校長・教職員(常勤)とする。  
教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。  
但し、ベンチ入りについては1名のみとする。  
(5)硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。  
(6)参加資格の特例を認める。「開催基準8(6)複数合同チーム」(県に準ずる)
- 10. 競技規則** (1)2022年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟特別競技規則、特別規則を適用する。  
**投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。**  
**・大会中の1日の投球制限・・・100球**  
**・1週間の投球数・・・350球**  
**※試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。**
- 11. 大会規定** (1)トーナメント方式とする。  
(2)試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差5回以降7点差とする。決勝戦も適用する。  
また、日没・降雨のコールドゲームについては全試合5回以降成立とする。  
日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合(サスペンデッドゲーム)を適用する。  
(3)延長戦の8回以降からは、タイブレークを適用する。タイブレークは**無死1、2塁**の状態継続打順で開始する。  
勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で繰返し、原則10回までとする。10回を完了しても決着がつかない時は、  
抽選で勝敗を決定する。ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまで  
タイブレーク方式を続行する。
- 12. 試合球** 全日本軟式野球連盟公認ナガセケンコーボールM号球とする
- 13. 組合せ** (1)令和4年7月6日(水)に城北中学校地域連携室にて行う  
(2)抽選は、原則として各学校の監督が行う。但し、コロナウィルスの感染拡大を考慮して、  
抽選会に参加できない場合は、専門部に委任してもよい。
- 14. 表彰** 本大会の優勝チームには優勝旗と賞状、準優勝、3位のチームには賞状を与える。また、個人賞として殊勲賞・敢闘  
賞・打撃賞を表彰する。(個人賞は決勝戦進出校から選出し、打撃賞は準決勝・決勝戦を合わせた規定打席4打席  
以上の打者とする)
- 15. その他** (3)今大会の上位4チームには、第14回全日本少年春季軟式野球大会沖縄県予選大会への出場資格を与える。

# 第1回SPORTS DEPO杯争奪第32回那覇地区中学校軟式野球 1・2年生強化大会要項

## (第14回全日本少年春季軟式野球大会那覇地区予選会)

1. 試合時間 (1) 試合は100分と計算し、次の試合のチームは、前の試合開始時間までに集合する。  
(2) 連続試合の場合は間隔を40分間とする。
2. オーダー交換 (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(4部提出)  
(2) 攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
3. ダックアウト (1) 抽選番号の若い方が1塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。  
登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。  
(2) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。  
(3) ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
4. シートノック (1) シートノックは、全試合後攻より行う。時間は5分間とする。  
(2) シートノック時のみ、登録外の補助員(5名以内)を認める。なお、ユニフォーム、ヘルメットを着用すること。  
(3) ノッカーは、ユニフォームを着用する。  
(4) 1日で2試合を行うチームは、シートノックを1試合目のみ行う。  
なお、天候などにより球場を移動して試合を行う場合は、本部に確認の上、シートノックを行う場合もある。  
※天候の理由でシートノックを行わない場合もある。その場合は試合時間を早めることもある。
5. 応援 (1) 無観客試合とする。但し、各チーム緊急対応保護者4名を会場に待機させる。  
(2) 会場入りできるのは、登録メンバーのみとする。  
(3) 会場入りする名簿を作成する。その名簿は、各チームで保管し万が一感染症が発生した場合は速やかに追跡調査ができるように、各学校の顧問で保管する。  
(4) 緊急対応保護者以外の保護者・一般による観戦を会場周辺で行うことを禁止する。
6. 守備側と攻撃側のタイムの回数制限 (1) 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3度以内とする。  
なお、延長戦(タイブレークも含む)となった場合は、1イニングに1度行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。
7. 監督が投手の所へ行く回数の制限 (1) 監督が1試合に投手のところへ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレークも含む)は1イニングに1回行くことができる。  
(2) 監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。  
なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
8. 用具 (1) バットリング、トレーニングバット、スプレー(滑り止め)、マスコットバットの使用を禁止する。  
(2) 手袋・リストガードは、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。  
(3) 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。  
(4) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った捕手用ヘルメット・マスク(SGマーク)・スロートガード・プロテクター・レガースとファウルカップを使用すること。また、打者・走者・次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った両側にイヤラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
9. 試合のスピード化 (1) 打者・次打者・ベースコーチの4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。  
(2) 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。  
(3) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。  
(4) 次打者席では投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。  
(5) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見る。
10. その他 (1) 背番号は1~20番を使用し、原則としてポジション順とする。  
(2) チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。グラウンドコートも同様とする。  
尚、監督・コーチのシューズについても同色とする。  
(シューズ・スパイクにおいては令和4年度までの大会において色の混在を認める。なお、高校野球対応のものとする。)  
コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。  
(3) ストッキングの形をしっかりと統一する。  
(4) 選手交代は、監督が球審に告げること。  
(5) 球場内においての試合前の練習はユニフォーム又は、統一のチームシャツを着用すること。  
(6) 芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。  
(7) 球場内のバッティング練習は、バント・トスバッティング(1対1)までとする。  
(8) 試合中のアップ(キャッチボール)については2組(4名以内)とする。

※ 大会参加に当たり、氏名、学校名、学年及び対戦結果、記録、画像等を主催者が発行・販売する大会冊子、出版物、ホームページ、及びマスコミへの公表に使用することがあります。